

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター運営費		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～		担当課室	国立病院課		課長：古川夏樹	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-4-1 政策医療を向上・均てん化させること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立精神・神経医療研究センターが行う業務(精神疾患、神経疾患、筋疾患及び知的障害その他の発達の障害に係る医療並びに精神保健に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等)にかかる経費の一部に充てることにより、同センターの業務の円滑な実施及び同業務の推進に資すること。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国の精神・神経疾患対策の中核的機関として、精神、神経、筋疾患及び知的障害その他の発達障害に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	4,595	4,513	4,761	4,534	4,807
		補正予算			△ 109		
		繰越し等					
	計	4,595	4,513	4,652	4,534	4,807	
	執行額	4,595	4,513	4,652			
執行率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	国立精神・神経医療研究センターが行う業務に関する独立行政法人評価委員会(高度専門医療研究部会)の評価(全14項目)		成果実績	-	S=1 A=13	S=3 A=9 B=2	S=3 A=10 B=1
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	英文論文数 ※活動実績は、歴年による集計		活動実績 (当初見込み)	本	190	218	227
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	事業費等	4,534	4,807	臨床研究推進事業に係る経費の増			
	計	4,534	4,807				

事業所管部局による点検			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	我が国の精神・神経疾患対策の中核的機関として、精神、神経、筋疾患及び知的障害その他の発達障害に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	我が国の精神・神経疾患対策の中核的機関として、精神、神経、筋疾患及び知的障害その他の発達障害に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、国が実施すべき事業である。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	我が国の精神・神経疾患対策の中核的機関として、精神、神経、筋疾患及び知的障害その他の発達障害に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、優先度が高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の徹底した適正化に取り組んでおり、競争性、透明性は確保されている。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—	—
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—	—
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—	—
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の徹底した適正化に取り組んでおり、競争性、透明性は確保されている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—	—	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	—
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—	—
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	主に研究・開発等に活用しているが、その結果、英文論文を発表するなど、十分、活用されている。
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	NCの運営費の一部に文部科学省の事業と類似するバイオバンク事業があるが、文部科学省の事業との役割分担を明確にするため、平成25年度から生体試料の収集対象疾患、対象者等を限定(※)することにした。 ※約190疾患の全受診患者の血液・細胞組織等→手術を要する約96疾患の重症患者の細胞組織(一部血液)
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名
	0240	オーダーメイド医療の実現プログラム	文部科学省研究振興局研究新興戦略官付
点検結果	成果活動や活動実績にあるよう一定の成果を上げていることから、現段階では、特段問題はない。		
外部有識者の所見			
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター運営費については、センターが行う業務にかかる経費の一部に充てるためのものであり、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	—		

備考

平成24年度予算執行調査(事案名:独立行政法人国立高度専門医療研究センターが実施するバイオバンク整備事業)

○調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

1. 生体試料の収集対象疾患が限定されておらず、収集目標数も設定されていない中で、6NCが各々生体試料の収集を行っている。
2. 保管生体試料の各NCのデータベース化、NC間のネットワークシステムの標準化は構築途上であり、患者同意が得られた生体試料の外部への提供体制の整備は進んでいない状況。
3. 患者を対象として類似の施策である、文科省のバイオバンクジャパンとの役割分担を明確にし、生体試料の収集対象疾患や、収集対象者を限定するなど、重複を排除することにより、経費の圧縮を図るべき。
4. 費用対効果を勘案し、NCのデータベース化、ネットワークシステム構築経費については、既存システムの転用、セキュリティを確保したインターネット回線の活用により、開発に係る経費の圧縮を図るべき。

○反映の内容等

1. 生体試料の収集対象疾患、対象者等を限定(※)することにより、収集・蓄積及び解析に係る人件費等の縮減を図った。
※約190疾患の全患者の血液・細胞組織等→手術を要する約96疾患の重症患者の細胞組織(一部血液)
2. NCのデータベース化、ネットワークシステム構築経費について、既存のシステムの転用及びセキュリティを確保したインターネット回線の活用により、開発費等の縮減を図った。

行政刷新会議ワーキンググループ「新仕分け」(平成24年)

レビューシートの事業番号(761) 事業名(国立高度専門医療研究センターにおける事業(橋渡し研究の推進、バイオバンクの整備))

○評価結果

「国立高度専門医療研究センターにおける橋渡し研究等推進事業」

既存の運営費交付金の中で対応できるよう事業内容を抜本的に見直す。

「個別化医療推進のための患者ゲノムコホート研究推進事業」

事業の推進にあたっては、重複を排除し、役割を明確化した上で、既存の運営費交付金の中で対応するよう、抜本的に見直す。

○とりまとめコメント

国立高度専門医療研究センターにおける橋渡し研究等推進事業については、「抜本的見直し」を結論とする。見直しにあたっては、既存の運営費交付金の中で対応できるよう検討、とさせていただく。評価者からは、「具体的かつ戦略的なビジョンやロードマップが見えない」、また、「結局、何のために43億円が必要なのか、何の成果があるのか、何を指すのか、はっきりとした説明がなかった。」との意見があった。

個別化医療推進のための患者ゲノムコホート研究推進事業については、「抜本的見直し」を結論とする。事業の推進にあたっては、重複を排除し、役割を明確化した上で、既存の運営費交付金の中で対応いただく。評価者からは、「NCBN(6NCバイオバンク)とBBJ(バイオバンクジャパン)は、最低限のデータについて共通の情報プラットフォームを作るべきではないか、その上で管理可能なよう統合を目指すべき」、「創業につなげるロードマップ、中期・長期計画を明らかにするべき」、「限られた財源・資源を有効に活用するため、その推進に向けては各省及び各研究機関の間での重複を排除すべき」との意見があった。

関連する過去のレビューシートの事業番号

	平成22年		平成23年	880	平成24年	762
		—				

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省

4,652百万円

[運営費交付金]

独立行政法人
国立精神・神経医療研究センター
4,652百万円

国立精神・神経医療研究センター
の運営に必要な経費の一部
(不採算医療、臨床研究等)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位:百万円)

【一般競争入札】
A. (株)きんでん
591百万円
(建物整備)

【一般競争入札等】
B. (株)メディセオ
338百万円
(医薬品等購入費)

【随意契約】
C. 東京電力株式会社多磨支店
武蔵野支社
336百万円

【一般競争入札等】
D. (株)MMコーポレーション
274百万円
(材料等購入費)

【随意契約】
E. 東京ガス(株)
253百万円
(ガス使用料)

【一般競争入札等】
F. 常陽メンテナンス(株)
184百万円
(院内清掃、庁舎管理等)

【一般競争入札等】
G. 東邦薬品(株)東京営業部営業
178百万円
(医薬品等購入費)

【一般競争入札等】
H. (株)スズケン中央支店
158百万円
(医薬品等購入費)

【一般競争入札】
I. (株)ナカノフードー建設
157百万円
(建物整備)

【一般競争入札】
J. (株)ジェー・イー・シー
150百万円
(実験動物飼育管理業務)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. (株)きんでん			F. 常陽メンテナンス(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
建物取得支出	ガスコージェネレーション整備工事(コージェネレーション設備、蓄電池設備)	551	委託費	院内清掃、庁舎管理等業務委託	183
その他固定資産取得支出	ガスコージェネレーション整備工事(発電機装置置場)	29	賃借料	レンタルマット式の賃貸借	1
修繕費	ガスコージェネレーション整備工事(電気設備改修等)	11			
計		591	計		184
B. (株)メディセオ			G. 東邦薬品(株)東京営業部		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
医薬品費	医薬品、検査試薬等の購入	326	医薬品費	医薬品、検査試薬等の購入	177
材料費	診療材料、給食材料、研究材料の購入	12	材料費	診療材料、研究材料の購入	1
計		338	計		178
C. 東京電力(株)多摩市店武蔵野支社			H. (株)スズケン中央支店		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
電力料	電力供給	336	医薬品費	医薬品、検査試薬等の購入	152
			材料費	診療材料、給食材料、研究材料の購入	6
計		336	計		158
D. (株)MMコーポレーション			I. (株)ナカノフードー建設		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
材料費	診療材料、研究材料の購入	244	建物取得支出	小型実験動物棟新築整備その他工事	157
委託費	医療材料等管理業務委託	19			
備品費	医療用、研究用消耗器具備品の購入	11			
計		274	計		157

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	E. 東京ガス(株)			J. (株)ジェー・エー・シー		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	ガス料	ガス供給	253	委託費	実験動物飼育管理業務委託	150
	計		253	計		150

支出先上位10者リスト
国立精神・神経医療研究センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)きんでん	ガスコージェネレーション整備工事	591		
2	(株)メディセオ	医薬品、検査試薬等の購入 診療材料、給食材料、研究材料の購入	338		
3	東京電力(株)多摩支店武蔵野支社	電力供給	336	随意契約	
4	(株)MMコーポレーション	診療材料、研究材料の購入 医療材料等管理業務委託	274		
5	東京ガス(株)	ガス供給	253	随意契約	
6	常陽メンテナンス(株)	院内清掃、庁舎管理業務委託 レンタルマット一式の賃貸借	184		
7	東邦薬品(株)東京営業部	医薬品、検査試薬等の購入 診療材料、研究材料の購入	178		
8	(株)スズケン中央支店	医薬品、検査試薬等の購入 診療材料、給食材料、研究材料の購入	158		
9	(株)ナカノフード建設	小型実験動物棟新築整備その他工事	157	8	73.2%
10	(株)ジェー・エー・シー	実験動物飼育管理業務委託	150		

* 1 自己財源を含む支出額である。(当該予算事業の遂行・支出にあたり交付金以外の財源が補填され、一体的に支出を行っているため。)

* 2 「入札者数」及び「落札率」については、入札案件(契約案件)が複数含まれている。